

日本大ダム会議（JCOL）
D、平井秀輝会長）と韓国、
中国の大ダム会議で構成する
東アジア地域ダム会議（EAD
C）の第12回大会が、3日



東アジア地域ダム会議第12回大会 日本の技術で水問題に貢献

から名古屋市内を中心に開催されている。日本の技術が皆さされている。テーマは「次世代に向けたダムと貯水池の持続可能な開発・管理」。シンポジウムやテクニカルツアーなどを実施している。会期は7日まで。

日本大ダム会議ら

4、5日は中村区の名古屋
コンベンションホールでシン
ポジウムやポスター発表など
を行った。写真。4日の開会
式で平井会長は「シンポジウ
ムが知識や経験などを習得す
る機会となり、持続可能な将
来へつながることを期待す
る。テクニカルツアーも計画
訪れる。

テクニカルツアーで見学す
る二つのダムは、いずれも中
部地方整備局の事業。6日は
土砂バイパスを建設した小洪
ダム（長野県那賀川村大草）、
7日はかさ上げによるダム再
生を進めている新丸山ダム
（岐阜県八百津町八百津）を

